

## Ⅱ. 3. FD 活動、受賞等

### ○FD 活動

#### <言語文化専攻>

##### <平成 30 年度前期>

- ・ 教員懇談会「言語文化 B 棟改修工事について」：4 月 5 日（言語文化 A 棟大会議室）、参加人数 43 名
- ・ iPad café: 共通教育外国語授業における ICT 活用に関する情報交換：4 月 26 日（共通教育棟 HALC2）、参加人数 10 名
- ・ iPad café: 共通教育外国語授業における ICT 活用に関する情報交換：5 月 24 日（共通教育棟 HALC2）、参加人数 10 名
- ・ iPad café: 共通教育外国語授業における ICT 活用に関する情報交換：6 月 14 日（共通教育棟 HALC2）、参加人数 12 名
- ・ 教員懇談会「平成 31 年度 研究実践基礎、研究発表演習について」「全学共通教育科目「学問への扉（マチカネゼミ）」の科目担当について」「人文系教育研究組織構想について」：7 月 19 日（言語文化 A 棟大会議室）、参加人数 50 名
- ・ iPad café: 共通教育外国語授業における ICT 活用に関する情報交換：8 月 3 日（共通教育棟 HALC2）、参加人数 13 名
- ・ 教員懇談会「人文系教育研究組織構想について」：8 月 9 日（言語文化 A 棟大会議室）、参加人数 49 名
- ・ iPad café: 共通教育外国語授業における ICT 活用に関する情報交換：9 月 25 日（共通教育棟 HALC2）、参加人数 12 名

##### <平成 30 年度後期>

- ・ iPad café: 共通教育外国語授業における ICT 活用に関する情報交換：10 月 11 日（共通教育棟 HALC2）、参加人数 17 名
- ・ 学生用図書のおすすめに関する検討：10 月 26 日（言語文化 B 棟朝鮮語研究室）、参加人数 1 名
- ・ iPad café: 共通教育外国語授業における ICT 活用に関する情報交換：11 月 29 日（共通教育棟 HALC2）、参加人数 12 名
- ・ 受信から発信へ：日本人英語学習者の課題をどう乗り越えるか—国際学習者コーパス研究の最前線—：11 月 29 日（言語文化 A 棟 305）、参加人数 22 名
- ・ スピーキング学習の新スタイル—AI によるアプローチ:11 月 30 日(言語文化 A 棟 305)、参加人数 6 名
- ・ フランス語共通テスト問題検討会：12 月 6 日（言語文化 A 棟 508）、参加人数 6 名
- ・ iPad café: 共通教育外国語授業における ICT 活用に関する情報交換：12 月 13 日（共通教育棟 HALC2）、参加人数 8 名
- ・ フランス語共通テスト問題検討会：12 月 13 日（言語文化 A 棟 508）、参加人数 6 名
- ・ 教育系学内データから見る、阪大生の英語運用能力：12 月 25 日（言語文化 A 棟 302（マ

- ルチリンガル教育開発オフィス))、参加人数 7 名
- ・ フランス語共通テスト実施検討会：1 月 9 日（文法経本館 中庭会議室）、参加人数 6 名
  - ・ 新カリキュラムに関する意見交換：1 月 24 日（言語文化 A 棟 305）、参加人数 11 名。
  - ・ iPad café: 共通教育外国語授業における ICT 活用に関する情報交換：1 月 31 日（共通教育棟 HALC2）、参加人数 14 名
  - ・ フランス語共通テスト結果検討会：1 月 31 日（言語文化 A 棟 602）、参加人数 6 名
  - ・ 2019 年度以降の教育体制について：2 月 10 日（箕面キャンパス B 棟研究室）、参加人数 3 名
  - ・ iPad café: 共通教育外国語授業における ICT 活用に関する情報交換：2 月 15 日（共通教育棟 HALC2）、参加人数 10 名
  - ・ 2019 年度以降の教育体制について：2 月 17 日（電子メール）、参加人数 3 名
  - ・ カリキュラムおよびシラバス参考文献の検討：2 月 18 日（言語文化 A 棟 202）、参加人数 1 名
  - ・ 現「国際教養 2」の今後のあり方についての検討：2 月 21 日（言語文化 A 棟 206）、参加人数 3 名。
  - ・ ギリシャ語・ラテン語の成績評価方法の再検討：2 月 21 日（言語文化 A 棟 507）、参加人数 1 名。
  - ・ iPad café: 共通教育外国語授業における ICT 活用に関する情報交換：3 月 13 日（共通教育棟 HALC2）、参加人数 7 名
  - ・ 2019 年度以降の教育体制について：3 月 25 日（OBP 円形ホール）、参加人数 4 名

#### <言語社会専攻／日本語・日本文化専攻>

- ・ FD 研修・「外国語の授業における iPad 活用法ータブレットを使った外国語教育ー」：平成 30 年 10 月 18 日、(箕面キャンパス B 棟 1 階プレゼンテーションルーム)、参加人数 25 名

#### ○国立七大学外国語教育合同シンポジウム

国立七大学（北大、東北大、東大、名大、京大、阪大、九大）外国語教育連絡協議会及び合同シンポジウムに参加した（平成 30 年 11 月 1 日、九州大学）。連絡協議会では、大阪大学が提案した協議事項「カリキュラム改革の理想と現実」の下、各大学の取り組みと問題点について説明と意見交換を行った。大阪大学からは、森祐司マルチリンガル教育センター教授から平成 31 年から始まる外国語科目の新カリキュラムの理念と重要項目の説明がなされた。合同シンポジウムでは、「クォーター制授業において、有効な外国語カリキュラムの構築はいかにして可能か。」をテーマに、各大学が報告を行った。大阪大学からは、伊勢芳夫言語文化研究科教授が講師として、大阪大学のクォーター制の現状と、言語文化研究科におけるクォーター授業の取り組みが説明された。

## ○人権問題への取り組み

### <言語文化専攻>

・新入生対象キャンパス・ハラスメント防止研修会

日時：平成30年4月2日（月）16:30～17:10

会場：言語文化A棟2階 大会議室

講師：濱田 綾 氏（大阪大学ハラスメント相談室 助教）

テーマ：「大学でのハラスメントと相談について」

主催：言語文化研究科言語文化専攻キャンパス・ハラスメント問題小委員会

・教職員対象キャンパス・ハラスメント防止研修会

日時：平成30年11月15日（木）14:40～15:40

会場：全学教育推進機構 管理・講義A棟6階 大会議室

講師：濱田 綾 氏（大阪大学ハラスメント相談室 助教）

テーマ：「ハラスメント防止のために～社会的少数者とハラスメントを中心に～」

主催：言語文化研究科言語文化専攻キャンパス・ハラスメント問題小委員会

### <言語社会専攻／日本語・日本文化専攻>

・学生対象就職に関する講演会

日時：平成30年11月14日（水） 10:30～12:00

会場：箕面キャンパス A棟（A316 講義室）

講師：友弘克幸弁護士、中嶋ふみ弁護士（大阪弁護士会所属）

テーマ：「ブラック企業」・「ブラックバイト」にご用心  
～これだけは知っておきたい「ワークルール」～

主催：言語文化研究科・外国語学部学生支援委員会、外国語学部なんでも相談室

・教職員対象キャンパス・ハラスメントに関する研修会

日時：平成30年2月15日（木） 14:15～15:15

会場：箕面キャンパス 管理棟4階 大会議室

講師：佐伯良祐弁護士（大阪弁護士会所属）

テーマ：「具体的な事例から見るキャンパス・ハラスメントの傾向」

主催：言語文化研究科・外国語学部

・教職員対象キャンパス・ハラスメントに関する研修会

日時：平成 31 年 2 月 14 日（木） 10：30～12：00

会場：箕面キャンパス A棟（A216 教室）

講師：米川正子氏（立教大学特定課題研究員）

テーマ：「コンゴ東部における性的テロと日本の人権意識」

主催：言語文化研究科・外国語学部

備考：新任教員研修プログラム（マネジメント能力開発プログラム）を兼ねる

## ○受賞

### <言語文化専攻>

平成 29 年度

・言語科学会 JCHAT 賞（優秀論文賞）：宮本 陽一 教授

・延辺大学外国語学院・延辺大学日本学研究所

「中日韓朝言語文化比較研究国際シンポジウム」表彰：植田 晃次 准教授

・大阪大学賞：上田 功 教授

西田 理恵子 准教授

平成 30 年度

・日本アメリカ文学会賞：里内 克巳 教授

### <言語社会専攻>

平成 28 年度

・喃（ノム）遺産保存会 2017 バラバン賞：清水 政明 准教授

平成 29 年度

・フィリピン政府国立国語研究所 フィリピン国語名誉賞：大上 正直 教授

・日本アメリカ文学会 学会賞：渡邊 克昭 教授

平成 30 年度

・大阪大学賞（教育貢献部門）：横井 幸子 准教授

・情報処理学会 特選論文 受賞 鈴木 慎吾 講師